

29年4月から区立小学校に「特別支援教室」を設置します

児童の中には、学習面や集団参加においてさまざまな困難を抱えている児童がいます。しかし、それぞれの状況に応じた指導を受けることで、困っていることの軽減・改善を図ることができます。

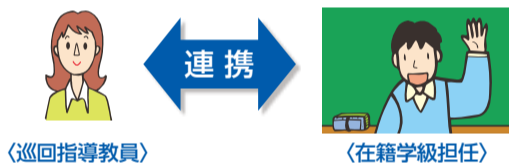
現在、学校生活において一部支援の必要な児童が、普段は学区の学校(在籍校)で学習を進め、週1回程度、通級指導学級に通って指導を受けています。

文京区では、来年度から全区立小学校に「特別支援教室」を設置し、一人でも多くの児童に対し、在籍校で必要に応じた支援が受けられるように体制を整えていきます。



期待される効果

児童は通級指導学級へ通う時間がなくなるため、**在籍校で過ごす時間が増えます。**



巡回指導教員と在籍校の担任で、周囲の環境や学級の適応状況を見ながら指導方法等の相談をすることができるため、**在籍学級での適応力向上に向けた支援体制がとりやすくなります。**

保護者は、通級に伴う付き添いの負担がなくなるとともに、在籍校で学級担任や巡回指導教員との教育相談が可能となります。



教育指導課特別支援教育担当
☎(5803) 1298

特別支援教室で行う指導

児童が困っていること

- ・コミュニケーションがうまく図れない。
- ・注意を集中し続けることが難しい。
- ・席を離れたがる。他の人がしていることを相手の意志にかかわらず同じようにしてしまう。
- ・書くことや音読、計算など学習の中で特に苦手なものがある。

指導事例

- ・指導員とのロールプレイ等とおして、よりよいかかわりができるようにします。
- ・ゲーム等とおして、ルールに従って行動する力を身につけます。
- ・個々の特性に合わせた学習の方法を学び、教科に生かせるようにします。
- ・困った時に周囲への助けの求め方を学びます。



特別支援教室Q&A

- Q** 特別支援教室を利用できる児童は？
A 通常の学級に在籍する知的発達に遅れない発達障害等(高機能自閉症アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)等)一部特別な指導を必要とする児童です。現在、通級指導学級を利用している児童と変更はありません。
- Q** 特別支援教室の利用を希望する場合は、どのようにすればよいですか？
A 保護者が在籍校に特別支援教室の入室希望をお伝えください。その後、巡回指導教員、臨床発達心理士等の専門家を交えた校内委員会で発達検査等の結果をもとに協議し、この協議結果を受けて教育委員会が特別支援教室入室の可否を決定します。

1 特集

29年4月から区立小学校に「特別支援教室」を設置します

- 2 教育委員が新たに就任しました
リレーコラム [一龍斎 貞水]
放課後全児童向け事業を行っています
- 3 真砂中央図書館がリニューアルしました
子どもの心と体の健康づくり
- 4 文京文化財探訪
[イタリア人宣教師 シドッティ神父と見られる人骨の発見]
「出張b-lab」を実施しています
学校給食おすすめレシピ[魚の甘みそ焼]
編集後記

教育委員が新たに就任しました

前教育委員 羽入佐和子氏の辞任に伴い、新たに小川賀代氏が6月2日付けで教育委員に就任しました。新しい教育委員会の構成は下表のとおりです。

職名	氏名(敬称略)
教育長	みなみ しんべい 南 新平
教育委員 (教育長職務代理者)	しみず としあき 清水 俊明(順天堂大学医学部教授)
教育委員	たしま こうぞう 田嶋 幸三(日本サッカー協会会長)
教育委員	つばい せつこ 坪井 節子(弁護士)
教育委員	おがわ かよ 小川 賀代(日本女子大学理学部教授)

教育総務課庶務係 ☎(5803) 1291

教育委員からのメッセージ

新たに教育委員に就任した小川氏より寄せられた、区民の皆さんへのごあいさつを紹介します。



教育委員 小川賀代

本年6月より教育委員を拝命いたしました。現在、文京区目白台にある日本女子大学理学部で教員をしております。同時に、文京区在住で、文京区にある小学校に通う子どもの母親でもあります。

これまで、大学や学会、文部科学省の委託事業をとおして、科学教室やサイエンスカフェなど、小中高生に対する科学の啓発活動を積極的に行ってきました。これは、子どもの頃から、自然に親しんだり、物事の原理や仕組みに触れていくことが、自らの興味・関心を客観的な知見をもって探究する原動力となり、ひいては、それが様々な物事や現象が複雑に絡み合って起こる日常生活や実社会の様々な課題を主体的に解決する力につながっていくのではないかと、といった思いが強かったからでした。

また、研究においては、日進月歩で進展するIT技術を積極的に活用し、自主的な学びを支援できないか模索をして参りました。具体的には、学びの過程・成果をコンピュータにデータとして蓄積し、これらのデータを解析することによって、自らの学びを振り返ったり、次の目標を主体的に設定し、達成することを支援できるような情報システムの研究開発に尽力して参りました。

これらの教育・研究活動を通して得てきた知見・経験を、「個が輝き共に生きる文京の教育」を推進する文京区の教育ビジョンに生かし、文京区の教育の更なる発展に、微力ながら貢献することができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

リレーコラム

生かされている中で生きている

いま振り返ってみると、さまざまな場面において私は人に恵まれてきたと思う。今の自分がこうしてあるのは、そして自身がこれまで努力を続けてこられたのは、生かされている中で、生きてきたからだとして強く感じる。

天神町で生まれ育ち、当時は、戦争直後で町の様子は今と大分違っていた。それは、目に見えるものだけではなく、住人の気質も今とは異なっていたと思う。今のようにモノがなく、創意工夫が求められる時代で、どういふときにどう考えて、どのように対処するのかを周りの年長者が自ら行動してやって見せた。また、子どもたちで遊んでいても、危ないことをやろうとすると、見知らぬおじさんが、よく注意をしていた。もちろん自分の子どもではないのだけれど、その土地にいる子は、我が子も同然という雰囲気町全体にあったように思える。

雨あられ、雪や氷とへだつれど、

落つれば同じ谷川の水

寄席にも通ったことがなかった自分が、講談の世界に飛び込んだのは、16歳のときである。父の友人に、その当時、講談界一番の名人とされた邑井貞吉先生という方がいた。ある日、学校にも行かず、先生の自宅へお邪魔したことがあった。その頃の私は、ただ学校に行きたくなかった。講談に興味はなく、芝居をやりたいと考えていて、そのことを打ち明けたとき、先生が口にされたのが上のセリフだった。「芝居、講釈、落語や音楽だって、みんな違うようだけど、極意は同じ。芝居がやりたいなら、参考になるから、上野の本牧亭(講談の寄席。平成23年に閉場)と一緒に来なさい。」と連れて行かれた。これが私の講談師人生の始まりだった。あとで聞いたら、荷物持ちにちょうどいいやつが来たということだったらしいが(笑)。しかし、不思議なもので、始めは興味がなかった講談だったが、その世界に馴染んでいくうちにだんだんと好き

講師 一龍齋 貞水



昭和14年東京都文京区生まれ。昭和30年先代(五代目)貞丈に入門し、同年5月本牧亭初高座芸名「貞春」。昭和41年真打昇進 六代目貞水を襲名。平成14年重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。平成15年区民栄誉賞を受賞。

になっていく。それは、ずっと周りの人に助けられてきたということの裏返しだと思う。

型を破る

私がこの世界に入った当時、お客さんは若くても60半ば過ぎで、7・80歳の方がほとんどだった。自分が一人前になったときに、この人たちがどうなっているのだろうと考えたとき、やはり若い人にもっと来てもらいたかった。この状況を変えるには、何か変わったことをやらなくては行けないと試行錯誤を重ねた結果、辿りついたものの一つが立体怪談だった。しかし、師匠から言われた。「講談の型を破ろうとお前たちは言うけれど、破る型がないのに、型破りなんてできるわけがない。怪談話がやりたいなら、人一倍勉強して、普通の講談ができるようになってからやりなさい。」まさにそのとおりであり、基本の大切さを学んだ私の大切なエピソードである。今は、自分が弟子に対して同じことを伝えている。これこそ講談に限らず、全てに通ずることではないだろうか。今の私があるのは、これまでに会った多くの人たちや言葉に支えられてきたことに他ならない。

放課後全児童向け事業を行っています

放課後全児童向け事業は、児童が放課後の時間を安全安心に過ごすことができるよう、区立小学校内に児童の活動場所を設け、大人の見守りのもと、読書、工作、校庭でのスポーツ等を行うことができる事業です。保護者の就労等に関わらず、実施校の児童であれば、誰でも参加することが可能です(利用申請と保険料が必要)。

本事業は、23年に林町小学校において開始し、以後、昨年度までに駕籠町小学校、明化小学校、小日向台町小学校において順次スタートしました。今年度は、4月に指ヶ谷小学校と根津小学校でスタートしました。10月からは青柳小学校でスタートする予定です。

今後、文京区子育て支援計画に基づき、31年度までに全区立小学校で事業を実施することを予定しています。

放課後全児童向け事業の実施状況

現在、実施している学校

林町小、駕籠町小、明化小、小日向台町小、指ヶ谷小、根津小

今年10月に開始する学校

青柳小



体育館で元気に遊ぶ児童

児童青少年課放課後事業担当 ☎(5803) 1822

真砂中央図書館がリニューアルしました

7月10日、約1年間の改修工事を終え、真砂中央図書館が新たに生まれ変わり、これまで以上に快適で利用しやすくなりました。今号では、その一部をご紹介します。

新装真砂中央図書館を是非ご利用ください。

YA(ヤング・アダルト)コーナー

文京区の図書館で初めて10代の利用者向けの独立した部屋を設けました。読書離れ・図書館離れが顕著と言われるこの世代の方たちに読書に親しんでいただくため、さまざまなジャンルの本をそろえました。



他の閲覧スペースから独立し、テーブルを目的や人数に合わせて自由自在に組み合わせることが可能なため、グループ学習にも適している

多種多様な閲覧席

目的に合わせ、図書館での充実した時間を過ごしていただけるよう、閲覧席もリニューアルしました。親子で読書を楽しむソ

ファー、パソコンも使用できる一人掛けの閲覧席、新聞専用席や雑誌などを読むためのツール等、140余席を設置しました。



雑誌コーナーでは約200タイトルを閲覧することができる

中央館機能の拡充

資料の収蔵能力を約5万冊増やし、検索用端末を増設、書棚には地震対策も施しました。地域資料(文京区や東京都の郷土資料、



ここでは本やCDの探し方などのご相談や調査研究への支援を行っている

行政資料)も見やすくなり、これまで以上に調べものためのスペースが充実しました。

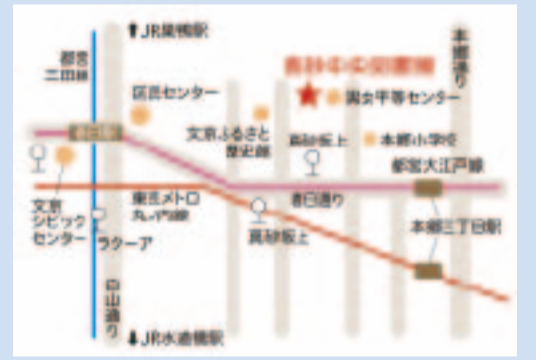
また、小さなお子さん連れの方も利用しやすいように、おはなしの部屋を設けるとともに、授乳室や乳児用カートを用意しました。

Information.....施設案内

開館時間 平日・土曜 午前9時～午後9時
 日曜・祝日・12月29日 午前9時～午後7時

所在地 本郷4-8-15

アクセス 都営バス「真砂坂上」 徒歩2分
 都営三田線「春日」 徒歩7分
 都営大江戸線「本郷三丁目」 徒歩7分
 東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」 徒歩7分



真砂中央図書館 ☎(3815) 6801

子どもの心と体の健康づくり

子どもの体力・運動能力を総合的に高めるためには、「基本的生活習慣の定着」「栄養・運動・休養(健康三原則)」「アクティブライフの実践」の徹底が大切です。教育センターでは、区内大学等と連携して子どもの健康づくりを進めています。

取組1 ▶▶▶ 子どもの体力向上

お茶の水女子大学と連携し、全区立幼稚園の5歳児を対象とした体力測定調査や身体活動量調査、保護者・担任を対象としたアンケート調査を実施するとともに、調査結果を踏まえて、体力向上アドバイザーによる巡回指導を行っています。

全区立小学校では、順天堂大学と連携し、東京都統一体力テストの分析結果を基に、体力向上推進プランを作成し、特に、運動能力の二極化解消・運動量確保に向けての取組の充実を図っています。また、体力向上アドバイザーによる訪問指導や指導員による体育での指導補助を行っています。

さらに、運動の楽しさや面白さを体感できる「体力向上イベント」を開催します(右表参照)。

取組2 ▶▶▶ 健康相談

順天堂大学と連携し、小学校での健康ト

レーナーによる巡回相談を実施しています。各校の養護教諭と連携しながら、学校保健委員会や保健、給食の時間を活用して、児童の健康課題の改善を図っています。また、生活習慣の改善を保護者の方と一緒に考える健康教室を開催します(下表参照)。

取組3 ▶▶▶ がん教育

都立駒込病院及び順天堂大学と連携し、区立小・中学校に専門医を講師として派遣し、がんに関する知識や命の大切さ等を総合的に学習する機会の充実を図ります。



7月に開催された健康教室の様子。講演内容は毎回異なる

教育センター ☎(5800) 2591

今後の開催スケジュール

日 時	体力向上イベント			健康教室	
	10/22 (土) 10:00～12:00	11/26 (土) 10:00～12:00	29年 3/25 (土) 10:00～12:00	11/19 (土) 10:00～12:00	29年 2/25 (土) 10:00～12:00
会 場	文京総合体育館		お茶の水女子大学	教育センター	
内 容	運動イベント 「子どもの頃に獲得しておきたい多様な動きづくり!!」	運動イベント 「コーディネーショントレーニングで体力向上を目指そう!!」	運動イベント 「多様な動きを遊びの中に取り入れよう!!」	講 演 「足から考える健康づくり～ケガの予防とくつ選び～」	講 演 「子どものこころの健康を育む保護者の関わり方」
講 師 (敬称略)	順天堂大学スポーツ健康科学部 教授 青木 和浩 (スポーツ健康科学)		お茶の水女子大学大学院文教育学部 准教授 水村 真由美	順天堂大学 スポーツ健康科学部 助教 門屋 悠香 (スポーツ医学)	順天堂大学 スポーツ健康科学部 助教 川田 裕次郎 (スポーツ心理学)
対 象	区内在住・在学の小学3・4年生	区内在住・在学の小学5・6年生	区内在住・在学の5歳児、小学1・2年生と保護者	区内在住・在学の3歳児から中学生の保護者	
定 員	50人(申込順)	50人(申込順)	50組(申込順)	各90人(申込順)	

※申込方法等、最新の情報は教育センターホームページまたは区報ぶんきょうをご確認ください。



イタリア人宣教師 シドッティ神父と見られる人骨の発見

区内のさまざまな文化財を紹介していくこのコーナー。今回は、趣向を変えて、一昨年、切支丹屋敷跡から出土した人骨に関する分析結果をご紹介します。

26年7月、小日向一丁目に所在する都指定文化財旧跡である「切支丹屋敷跡」において、集合住宅建設に伴い、埋蔵文化財調査を行いました。その結果、3基の墓と人骨が出土しました。

そこで、国立科学博物館において人類学的分析とミトコンドリアDNA鑑定を行ったところ、3体の人骨のうち、1体は西洋系男性、1体はアジア系男性であることが分かりました。

さらに、国立科学博物館による詳細なDNA鑑定を行ったところ、西洋系男性は、現在のイタリア・トスカーナ地方の人のDNAグループに入ることが判明しました。この1体について、考古学的分析結果、文献史学的分析結果、人類学的分析結果を総合したところ、ジョヴァンニ・パッティスタ・シドッティ神父である可能性が高いことがわかりました。

シドッティ神父は、イタリア人宣教師として、1708年に屋久島に上陸して捕らえられ、小日向の切支丹屋敷に収容されていました。その際に、幕政を担当していた新井白石が取調べを行い、後にこのことに基づき、キリスト教、世界地理、言語、海外情勢などを「西



シドッティ神父と見られる人骨

洋紀聞」「采覧異言」に著しました。これらの書物は、日本の歴史にも大きな影響を与えていることから、この発見は大変に貴重なものです。

なお、28年1月に実施された大学入試センター試験では、「日本史B」のなかでシドッティ神父に関する問題が出題されています。

教育総務課文化財保護係 ☎(5803) 1305

「出張b-lab」を実施しています

27年4月にオープンした中高生向け施設b-lab（青少年プラザ）では、スタッフが区立中学校各校（※対象の学年は学校によって異なります）に赴き、キャリア学習授業「出張b-lab」を実施しています。

この授業は、勉強や部活、友だち関係、そして進路のことなど、生徒の普段の悩みについて、先生や親、友達でもない少し年上の大学生スタッフが生徒と本音で語り合う取組です。

ロールモデルとなる先輩と出会い、対話することで、少し先の未来への見通しを持つとともに、それに自分自身を重ね合わせることで、進路とそれに向けた取組への希望・意欲を喚起するねらいがあります。

すでに実施した中学校では、「自分の将来についてもっと考えたい!」といった声が上がっています。



大学生スタッフと和やかに語り合う生徒

b-lab（青少年プラザ）とは・・・

b-labは、中高生の自主性・社会性の成長を応援することを目的とした区内初の中高生向け施設です（教育センターとの複合施設）。「中高生の秘密基地」をコンセプトとし、リビングのようなスペースや、勉強、バンド活動、ダンス、バスケットボールなどのスポーツや料理ができるスペースがあります。また、文

化・スポーツ、学習支援などのイベントを実施するほか、中高生がイベントの企画や運営に関わる挑戦のステージがあります。

Information.....施設案内

利用対象 区内在住・在学の中高生世代（在勤も含む）

開館日 年末年始(12/29～1/3)を除く毎日開館

開館時間 午前9時～午後9時
※中学生の利用は午後8時まで

所在地 湯島4-7-10

児童青少年課青少年係 ☎(5803) 1186

学校給食おすすめレシピ

魚の甘みそ焼き

旬の魚を、甘さとみその香りで子どもたちにも食べやすく工夫をした料理です。下味をつけたら魚焼きグリルに入れるだけ。気軽に魚を食卓にのせてみましょう。



★材料(4人分)	分量	
・魚の切り身	4枚	
・甘みそタレ		
みそ	大さじ2	A
砂糖	大さじ1	
みりん	大さじ1	
だし汁	大さじ1	B
片栗粉	小さじ1/2	

学務課給食担当 ☎(5803) 1299

★作り方

- ①タレのAを混ぜ、1/3量を魚にまぶしておく。
- ②魚焼きグリルで魚を焦げないように焼き上げる。
- ③Aの残りにBを混ぜ、小鍋で煮詰めてとろみをつけるか、電子レンジにかける。
- ④②に③をかけて盛り付ける。

★ポイント

- ・写真の魚はサワラですが、サケ、ブリ、タラ、タイなど季節に出回っているものでお試しください。
- ・甘みそタレに白ごまを加えると、栄養価アップのごまダレになります。
- ・写真の副菜料理は「野菜の辛子あえ」です。ゆでた野菜に、しょうゆ3・砂糖1・練り辛子少々を混ぜたもので調味しました。野菜料理も添えて、召し上がれ。

編集後記

今号では、一龍齋貞水さんのコラムを掲載しましたが、入門するまで講談に興味がなかったとは、とても意外でした。ご本人にお会いすると、とても気さくで魅力的な方で、皆から慕われている理由

が分かったように思いました。このコラムを読んだ方にも、これまで講談を聞いたことがなかったけれど寄席に足を運んでみようかなと思った方も少なくないのではないのでしょうか。